

## 第 42 回水産学部鴻洋祭開催に当たって



長崎大学水産学部の学部祭である鴻洋祭が6月4日(土曜日)と5日(日曜日)に開催されます。長崎大学水産学部の学部祭である鴻洋祭は、今でも学生の自治会組織である長崎大学水産学部学友会が主体となって手作りで開催している数少ない学園祭の一つであり、自治会組織の最重要行事と聞き及んでおります。ところで、本年の鴻洋祭はこれまでの学部祭と異なり我が国が経験したことの無い大変な自然災害の中での開催となり

ます。例年ですと新年度が始まり、新入生を迎えての晴れ晴れした気分での開催でしょうが、本年はそうではありません。被災された方々の苦悩とこれらのご苦勞を考えると哀悼の意でいっぱいです。長崎大学では多少の大学業務を犠牲にしてもこの震災復旧支援に当たると宣言しています。水産学部としても地震発生後直ちに練習船長崎丸を災害支援として現地に派遣し、支援物資の輸送に当たったところです。東日本大震災発生後、水産学部は直ちに練習船「長崎丸」に救援物資を載せて被災方面に派遣しました。全国の大学でも先駆けての支援活動で、長崎大学の練習船では初めての災害派遣でした。最初に福島原発から南へ約60キロの小名浜港で支援物資の半分を降ろし、直ちに岩手県宮古港に向かい、残りの支援物資と水を降ろして、日本海廻りで長崎へ帰港しました。小名浜は最初の入港予定には無かった港ですが、福島県からの悲痛な要請に応じての緊急入港でした。震災後最初に救援入港した船舶が「長崎丸」で、それ以降多くの救援船の入港があったそうで、現地の方々から大変感謝されたそうです。

今回の鴻洋祭ではこれまでの漁船海難遺児育英募金(水色の羽根募金)や森林を守り育てるための募金(緑の募金)だけでなく、今回の東日本大震災に対する募金活動を行うと伺っています。本年の鴻洋祭のテーマは「海帰：水産と海の魅力を再度見つめ直す」とのことで、海のすばらしさと人に与える恵みの大きさだけでなくその怖さを理解する良い機会にさせていただきたいと考えます。最後に、このたびの震災復興が速やかに行われることを祈念するとともに、本年の鴻洋祭が有意義で実りある学部祭として開催されることを期待します。

平成 23 年 4 月

長崎大学水産学部長 橘 勝康